

2010年4月18日

メッセージ概要

天声教会 1部日本語礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通り公園 I -201
TEL/FAX 045-326-6211

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

霊の祈り	Faith97 vil2 #7
賛美	復活
賛美	何という愛
使徒信条	会衆一同
交読文	40
祈り	
メッセージ	恵みを拾う(ルツ記)
祈り	
賛美	イエスは愛で満たす
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽

祝福の御言葉 自分にあてはめて祈りましょう

わたしは、あなたのはしためルツです。どうぞあなたの衣の裾を広げて、このはしためを覆ってください。あなたは家を絶やさぬ責任のある方です。」(ルツ 3:9 新共同約)
恐れるな、もはや恥を受けることはないから。うろたえるな、もはや辱められることはないから。若いときの恥を忘れよ。やもめのときの屈辱を再び思い出すな。あなたの造り主があなたの夫となられる。その御名は万軍の主。あなたを贖う方、イスラエルの聖なる神／全地の神と呼ばれる方。(イザヤ 54:4,5)
「シオンよ、恐れるな／力なく手を垂れるな。お前の主なる神はお前のただ中におられ／勇士であって勝利を与えられる。主はお前のゆえに喜び楽しみ／愛によってお前を新たにし／お前のゆえに喜びの歌をもって楽しまれる。」(ゼパニヤ:16,17)

イスラエルが罪を犯して飢饉になった時、エリメク一家は「食料が無い」という懲らしめから逃れるため、異邦人の国モアブへ食料を求め出て行った結果、エリメク自身と、息子2人までも異邦の地で骨を埋める事となる。
ナオミは絶望と悲しみの中、食料のために主の民を捨てて出て行った家の恥を忍びつつ、ユダの地へ戻る事を決心した。

ルツはイスラエルには好かれぬモアブの女であるし、ナオミについて行く事にはメリットは何も無いにもかかわらず、「あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。」(1:16)と言ひ、イスラエルの神と律法の憐れみに信頼してついて行く事を決心する。
ルツは信仰の模範のような女性であるが、彼女に信仰を継承したのは、ナオミである。ナオミは「私をナオミと呼ばないで、マラ(苦み)と呼んでください。」(1:20,21)と言った。従うべき夫の誤った判断についていった事によって苦い思いをしたかもしれないが、主は忠実なこのやもめ達を、苦々しい思いのまま置かれるのだろうか？

ルツは落ち穂を拾いに畑へ出て行くが、行った先は「はからずも」エリメクの一族に属するボアズという有力者の畑であった。
結論から言えばルツはこのボアズと結婚し、そのひ孫にダビデが生まれ、さらにその28代後にはキリストが生まれる。
人の目から見れば「はからずも」であるが、神はこのようにして頼る者を確実に導いて下さり、さらには王族の家系、キリストを生み出す栄光の家系へと加えてくださるのである。

ボアズは私達を買い取ってくださるイエスキリストの雛型である。
この世の営みは、落ち穂を拾うようなものであるが、イエスは周りの者に、じゃまをしないようきつく命じ(2章9)て下さり、若者が汲んだ水を飲んで良いようにして下さる。(同)私達が尽きた真実をしっかりと覚えていて下さり(11)、翼の下に避け所を求めてきた主から報いがあるよう、執り成して下さり(12)、苦い思いをしてきた私達を、慰めて下さる。さらには、私達に恥ずかしい思いをさせる事を許さず(15)、それだけでなく東からわざと穂を抜き落として、私達に拾わせて下さる。(16)
私たちは神の国にいる限り、恵みは落ち穂のように必ず落ちてくる。
恵みが落ちていけば、頭であれこれ判断したり口で論じる事はしないで、ただ低くかがみ、ありがたくいただき、家族へ持ち帰るのみである。
苦い水にはイエスの十字架という木を投げ入れ、甘くする事ができる。(出エ 15:22-25)

ルツは「わたしは、あなたのはしためルツです。どうぞあなたの衣の裾を広げて、このはしためを覆ってください。あなたは家を絶やさぬ責任のある方です。」(ルツ 3:9 新共同約)とボアズに迫り、彼はいてもたってもいられなくなった。
私達もそのように主に申し上げる時、主はいてもたってもいられずに私達を衣の内に覆い、買い戻して下さるのである。